

にじのきらめき速報

No.7

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

17日(木)は36℃を超える猛暑日となりました。夏の太平洋高気圧の勢力が強まった影響で、続々と梅雨明けの発表があると思われます。しかし、安定した夏空とはいかず、局地的に激しい雨や落雷が平年より多い見込みです。来週以降は、晴天が続く最低、最高気温ともに平年より高い日が多く、35℃まで気温が上がりうるような暑さが続きます。今週のにじのきらめきは、まだ幼穂の確認はできず、引き続き水管理等の適正管理に努めてください。

1. J A 生育調査状況 (7月17日現)

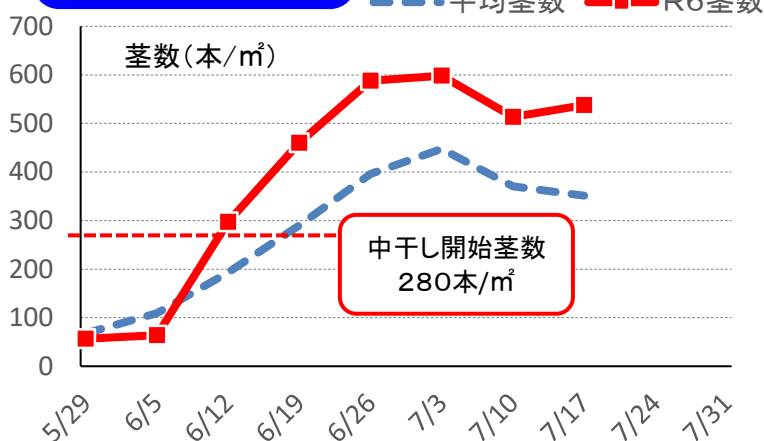
栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/m ²	葉令	葉色
移植	5月20日	88.2	538.1	-	4.3

【平年比】

●草丈 : 並み ●茎数 : 多い ●葉色 : 並み

2. 茎数の推移と今後の管理

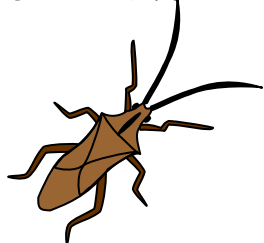
移植 5月20日～



3. にじのきらめき栽培管理のポイント

病害虫の発生に注意

斑点米カメムシ多発、(7/9) 福井県農業試験場はカメムシ注意報を発令しました。圃場の見回り、稲を観察して早期に対応しましょう。



病害虫防除

- カメムシ類(畦畔草刈り・防除)
- いもち病・紋枯病(防除)



葉色に注意

梅雨明け後は、高温が予想されています。収量アップを目指して、適正な水管理や葉色に応じて穂肥を散布しましょう。

葉色の管理

- 水管理で一発肥料の効果を高める
- 葉色が4以下の場合には穂肥を散布

穂肥の施用

□肥料 : アグリフラッシュ444

□施肥量 : 7～14kg/10a(N:1～2kg)

